

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 R7年1月21日

法人名	有限会社 百樹	代表者	児玉 茂樹	法人・事業所の特徴	利用者の生活スタイルに合わせ「通い・泊まり・訪問」を柔軟に組み合わせ住み慣れた地域で長く暮らし続けられるようにサポートしていく。				
事業所名	小規模多機能ホーム なだの郷府中	管理者	三苦 悅子						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	2人	2人	2人	1人	3人	14人	0人	28人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼やミーティング時に事業所評価に関する事も話し合い、共有する しっかり利用者と関わり、ニーズを把握する、共通理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> 基本情報を申し送りで共有し利用者を知ろうと努力している 全体ミーティングを行っている 利用者が話しやすい雰囲気を作り意見や悩みを傾聴し問い合わせにしっかり答える 大きな変化は管理者へ報告している、健康状態を把握できるように確認して指示を守るようにしている 施設内研修に参加、できない時は報告書を確認している リスクマネジメントに取り組んでいる 事故報告委員会で対策を考えている 申し送りで情報を知るが対応に生かせていない、情報共有できていない 本当に必要な支援ができていない、何が必要か判断できない 業務内容で情報収集が難しい 申し送り内容が多岐にわたりすぎて読み込み不足、忘れる、自分の意識が足りていない 施設外研修に行きたいと思うが積極的に希望を出していない 報告書で理解できなくともそのままにしている 	<ul style="list-style-type: none"> 全員が全体の取り組みを意識できた 改善点が具体的なため取り組めている、目標が職員間で共有しやすく達成可能になっていた。 管理者の指導のもと、利用者主体の関わりを実現されている 内部の連携も円滑に行われている、反面できていないと感じている職員も過半数こえている、会議等に職員が順番に出席できるシフトが組めると良い ミーティングで情報共有できている反面共有できていないことがあるが、どれだけ発信側が細かく発信しても受け取る側の意識が変わらないと難しいと思います。 あいさつ、声かけを積極的にしている、来客への対応がにぶい、職員によって対応が違う 	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼やミーティングで事業所評価に関する事も話し合い、共有する 記録など”知ろうとする”気持ちで読む

B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 四季を感じられる 行事や展示物を作り、明るく清潔な環境を整える 感染対策を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策は継続できている 四季折々の展示物を利用者と一緒に作り啓示している 季節の行事を行い、家族・ボランティアさんにも参加していただいている、地域の方々も協力して下さる コロナ以降、利用者全員参加の行事を行っていない 狭い空間が気になる、シフトの合わない職員が参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が奥まった所に有少し認識しづらい、看板など利用すると効果的だと思う 町内会の中でも外見や雰囲気が素晴らしい、前面道路で近所も空間があり平地で良い、全体の雰囲気は明るい、玄関回りなど整備され心地の良い空間になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を継続する 四季を感じられる 行事や展示物を作り明るく清潔な環境を整える
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にボランティアを受け付け町内会や近隣の方々との交流を継続する 利用者やご家族のニーズに合った対応ができるように地域資源を活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア受け入れ、町内会の行事に参加できている 自治体や包括の会議に参加できていない、参加できても意見を言えない 地域で行われている講習会に積極的に参加できている あいさつを欠かさない シフトが合わないので行事等に参加できない、利用者の状況により全員参加は難しい、施設外の行動が無い方もいる 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の生活環境に沿った、本人のライフスタイルを重視した支援ができている 家族・知人との面会外出、地域行事への参加などオープンな事業所を目指している、円滑に活動に行われている、地域交流の意識が高い町内会であり、今後も積極的に双方向の情報発信を図られたい、自宅に居ると町内行事等に参加できないが参加させていただいている TEL 対応がよく温かい雰囲気が相談しやすく地域との連携ができている、連携機関との情報共有、より広く小規模を知ってもらうために取り組などを多職種連絡会や民協などで伝えてもらった 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にボランティアを受け、ご家族・町内会、近隣の方々との交流を継続する 小規模連絡会を通して在宅生活が継続できるように支援する
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医、馴染みの商店利用を継続、地域の行事に参加する等今までの環境が変わらないように支援する 小規模連絡会を通して、地域の高齢者を支えていく 	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医や馴染みの商店利用継続 医療連携できている 家族・知人との面会や外出はできている 送迎時、家族とできるだけ会話 訪問時に会話して情報を得ている 利用者・家族の状況に合わせて通い、訪問・泊まりを調整している、変化を記録して共有している お誕生日会にはご家族も参加される プライバシーは守られている、拘束・虐待はしていない 人権、尊厳を常に意識している 言葉づかいに注意している 民生委員さんの役割等を把握していない 利用者さんの地域の関係性について分かっていない、地域資源をどのように活用するのか分からない 	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医、馴染みの商店利用ができておらず、利用者一人ひとりの生活スタイルを大切にし利用者と家族に寄り添った支援ができる 忙しい時でも母の意向を伝えてくださり、体調について早目に報告があり今後について色々提案して下さる地域の方々の理解や協力を感じありがたく思った。 施設と家族の連絡ノートがあると良い 領内会など地域の方々との団体との交流も多く良い関係が保たれている、利用者が安全に快適に過ごすための工夫、取り組みを進めている、利用者にとって必要な支援を確認していく利用者の姿を見る限り安心している、家族参加の誕生日会は楽しそう 介護度の重さから行事参加はハードルが高い中地域行事に参加している、酷暑で外出はあま 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで利用していた馴染みの商店、かかりつけ医受診が継続できるように支援する 地域の行事に参加する等今までと環境が変わらないように支援する

		<ul style="list-style-type: none"> 同居家族がおられる方の在宅生活を把握していない 小さな変化は記入もれや読み忘れがある 自分にゆとりが持てず不穏時の接し方やていねいな仕事ができない 	<p>りできなかつたとの事 施設外の活動がないと感じている職員もいる、回数が少なても施設内外で季節を感じられるような環境を作つてみてはどうか</p>	
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 職員も順次会議に出席して外部の方々の意見を聞き業務に活かす 参加者の方々が意見を出しやすい雰囲気に配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> どんな事が運営にどのように反映するのか管理者に聞けている 介護者からの意見や苦情があつたら管理者へ報告している 地域と協働した取り組み意味を把握していない、地域の方と接することがほとんど無い、意見や苦情をいただく機会がないため運営に反映できない ミーティングで意見を言えない、他者と意見が違うと言えず内容の共有ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> 不明点を管理者に聞く、報告するなど自発的かつ積極的に取り組めた、より良い取り組みを進めるための話し合いになつていて 毎回様々な関係者が多く参加し積極的な意見交換を行つていて、参加者に笑顔があり良く伝わっていると感じる、出席の職員も良く聞いていて、大丈夫だと感じる、出席できない職員に会議内容を伝え共有すると良い、参加者の意見を丁寧に聞いている たまにしか出席しないので再々参加できるともう少し発言できるかもしれない 分かりやすい資料と説明がある、おたよりは日々の様子が良くわかる 地域の方々の相談事例は無いので分らない 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が順次に出席できるシフトを作る 運営に関して職員も意識を持つため朝礼やミーティングで情報共有する
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 合同消防訓練時、地域の方々が参加しやすいように計画してなだの郷の事を知っていただく BCP作成に基づいて訓練を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々と防災訓練を行つていて 災害警報が出た場合に泊まりを入れて安全性を考えている、本人の体調を確認して対応している 防災、避難訓練等に参加している シフトが合わないので訓練に参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会と災害時対応協定書を結んでいて、災害発生時の目的を共有して共助としての取り組みも進めている、普段から町内会等と情報共有に努めている 万一非常時にあわてない様訓練を欠かさない事 普段から地域との交流が必要だと思う 訓練にシフトにより参加できない職員の改善に取り組むと良い 災害警報が出たら泊まりを入れて安全性を考えている 大雨等の時、家に居るより施設に居る方が安心です 地域の方の避難場所にもなるため備品や備蓄の管理が必要 地震と水害など対応が異なる事を危機管理課に相談すると良い 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会合同訓練時ご家族や地域の方々に参加していただけるように計画する 全職員が参加できるようにシフトを組む